

4 学校と関係機関との連携の在り方について十分な検討や改善を図る。

学校は、保護者や地域社会に対してどのように連携を深めていくかを積極的に検討し、学校の果たす役割を明確にしながら、具体的、実践的な活動ができるように方向付ける必要がある。そこで、生徒指導の成果を高めるために、次のようなことに配慮して理解と協力を得るようにしたい。

○ 指導方針や活動内容等を明確にする。

- ・ 家庭との連携を一層密にし、PTA活動の活性化を図る。
- ・ 人材・施設の相互活用と行事への相互参加による地域ぐるみの取組を促進する。
- ・ 地域の関係機関・団体との強調による青少年健全育成に努める。
- ・ 学校間の連携による組織的、広域的な活動を展開する。

○ 連携上の課題を明らかにし、その対策を考える。

- ・ 時間的な余裕，安全確保，人材や環境の把握，交渉や手続き，予算等の問題
- ・ 教師と保護者間の価値観のずれ，取組への意識と実際の隔たり等の問題
- ・ 保護者・地域の願いと学校の願いとの差異の問題
- ・ 施設・設備の構造や管理運営上の問題

